

人のつながりを 育んだ3年間



左から報告する山崎さん（四辻区）、谷川さん（金屋区）



左から報告する千賀さん（三河内区）、石田さん（岩屋区）



グループワークの様子

めざす姿の実現に向けて

協働のまちづくり調査事業は、地域の課題解決に取り組んでいくための「持続可能な仕組み」「地域と行政との協働のあり方」、10年後、20年後を見据えた「地域の未来」を考えることを目的に4地区で実施。京都府の伴走支援も受けながら、各地区のめざす姿の実現に向けて一緒に取り組んできました。

4地区の事業報告

●金屋区「金屋地域づくり推進委員会（愛称/かがやけ金屋人）」
「金屋地区公民館が老若男女を問わず憩いの場となり、公民館からいろいろなお知らせが発信できる場にする」をめざし活動してきました。
高校生以上を対象とした区民アンケートの実施や、かがやけ金屋人ミーティングを重ね、地区公民館を中心とした地域活性化と情報発信に

2月26日、知遊館において、「協働のまちづくり調査事業 事業報告会」を開催しました。調査事業実施4団体（金屋地域づくり推進委員会、三河内の将来像を考える会、100年暮らしが繋がる地域づくり推進委員会、四辻区）から、3年間の取り組みを報告いただくとともに、町内各區・各地区公民館から参加いただいた皆さんで、対話・地域間交流を行いました。 企画財政課 ☎43・9015

ついで検討。令和4年度には、実証事業「公民館へ行こう！」や、よさのみらいトーク内に区ホームページの開設をしました。



「公民館へ行こう！」で実施した新鮮野菜やリユース品の販売

●三河内区「三河内の将来像を考える会」
「豊かな三河内地域社会を実現するために、地域内の人間関係を豊かにし、地域社会に役立つ人材を育成する」をめざし活動してきました。次世代の人材育成に焦点を当て、

三河内の自然、歴史、文化、産業などの現状と課題を知る講座やフィールドワークを実施。令和4年度には、地域の人材育成を担う持続可能な組織「三河内未来塾」を設立しました。令和5年度は、公民館事業として活動を継承していく予定です。

●岩屋区「100年暮らしが繋がる地域づくり推進委員会（通称/100クラ）」
「100年後（3世代先）も豊かで安心・安全な暮らしが繋がる地域」をめざし活動してきました。中学生以上を対象とした区民アンケートで、地域での暮らしに対する不安感が高かったことから、区民の幸福度が上がる取り組みを検討。100クラだよりの発行やごみを拾って岩屋ぐるり旅の実施、区フェイスブックページでの情報発信など、世代間・団体間交流の機会を創出しました。令和4年度に

は、区民からのアイデアで、LINEを活用した「デジタル回覧板」の実証事業を実施しました。



岩屋区公式LINEのトップページ

●四辻区

「地域の実状や時代に即した自治会組織として、女性なども参加しやすい体制を整え、区・区民・区内の各種団体がそれぞれの役割により、地域課題に取り組める持続可能な区の運営、自治会活動を進める」をめざし活動してきました。
具体的には、区の規約改正や空き家調査、区の広報誌「四辻たより」を隔月に発行して、区内外へ積極的に情報発信しています。令和4年度には、区ホームページを開設。地域の動きを見える化し、より親近感のある自治会をめざした取り組みを展開しています。



みんなで進める地域づくり

3年間を振り返っての事業報告と参加者同士の対話・地域間交流から、地域が抱えるさまざまな課題と多くの気づきを、地域と行政の間で共有できました。これらさまざまな課題に対してどのように取り組むのか、

安心・安全で住みやすい持続可能な地域とは何かなど、将来の望ましい地域のあり方について地域と行政との対話の中でめざすべき地域協働のカタチを見出し、ともに手を取り合い、みんなの手で未来の地域づくりをスタートしていきます。

「対話から豊かな関係をつくる協働のまちづくり」

福知山公立大学地域経営学部教授 谷口知弘氏

人間関係が希薄化すると、住民自治機能が低下します。財政的にも質的にも限界があり、行政も無い袖はふれません。一方で、自治会や公民館、活動団体の力がないと楽しい地域、豊かな地域をつくっていくこともできません。

り、開いていくのが重要です。4地区の取り組みを通した人の豊かなつながりが、この3年間でたくさん育ったのではないのでしょうか。地域にまだ埋もれている人を地域社会とつなげ、人のつながりをつくり育て、安心して話し合いながら、地域内の豊かなつながりを築かれることを願っています。

そこで重要になってくるのが、自治会・共助、協働です。協働では、行政が中心となったかたちのほか、課題に必要なさまざまな主体と一緒に連携するマルチパートナーシップというかたちもでてきました。一人ひとりの地域への思いはあるけど、実践に向けた一歩を踏み出すきっかけがないという話はよくあります。地域と関わる入口をどのようににつく



基調講演をする谷口氏